

2025年2月28日

各 位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 代表執行役社長 萩野 明彦  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

## 新興運用会社の運用戦略に対する出資枠（EMP投資枠）の設定 及び第1号案件の投資決定について

株式会社大和証券グループ本社（以下、「当社」）は、当社グループにおける新興運用会社育成に向けた様々な取組み<sup>※1</sup>の一環として、新興運用会社の運用戦略に対して出資を行う当社グループでのEMP<sup>※2</sup>投資枠を設定することとなりました。また、第1号案件として、国内の新興運用会社であるマラトンキャピタルパートナーズ株式会社が運営を行う「マラトン2号投資事業有限責任組合（以下、「本ファンド」）への出資を決定しましたのでお知らせいたします。

※1 2024年1月16日プレスリリース「[資産運用立国実現に向けた大和証券グループの取組みについて](#)」参照

※2 Emerging Managers Program 新興運用会社にシードマネーの拠出等を行う、新興運用会社促進プログラム

### I 趣旨

- 当社グループでは、資産運用業の高度化に向け、運用力の高い投資運用会社を発掘し、育成することは、当社グループにおける新たな投資領域の拡大及び運用商品の多様化、ひいてはお客様の資産価値最大化に繋がるものと考えております。
- 2025年2月25日には、株式会社かんぽ生命保険と協働で新興運用会社が運用するファンドを投資対象とする新興運用会社促進プログラム<sup>※3</sup>を開始し、新興運用会社へ新たな投資機会や円滑な資金供給を提供する取組みを進めております。

※3 2025年2月25日プレスリリース「[かんぽ生命と大和証券グループの資産運用立国実現に向けた新興運用会社促進プログラム（EMP）の取り組みに関するお知らせ](#)」参照

- さらに今回、当社グループが新興運用会社の運用戦略に対して出資を行うプログラムを設定することにより、我が国の新興運用会社の発展に資すると共に、スタートアップ企業や成熟企業への成長資金の供給を通じて、政府が掲げる「資産運用立国の実現」に広く貢献していきたいと考えております。
- 新興運用会社については、これまで約1,600件のファンドの情報収集、年間1,500回以上の運用者との面談を通じて培ったゲートキーパーとしての高い目利き力を持つ株式会社大和ファンド・コンサルティングが、運用方針や投資プロセス、運用チームの経験等から、優れたパフォーマンスを実現する確度が高いと判断した運用戦略を選定します。
- なお、本取組みにあたり、2024年5月16日プレスリリース<sup>※4</sup>の内容からストラクチャーの変更を行っております。

※4 2024年5月16日プレスリリース「[ダイワEMPプライベート・ファンド1号」設立のお知らせ](#)」参照

## II 本ファンドの概要

ファンド名称	マラトン2号投資事業有限責任組合
運用会社	マラトンキャピタルパートナーズ株式会社 ※一般社団法人東京国際金融機構が紹介する「EM Showcase」に選定
会社設立日	2021年4月1日

## III 大和ファンド・コンサルティングの概要

名称	株式会社大和ファンド・コンサルティング
事業内容	投資助言・代理業、投資運用業 年金運用コンサルティング業 情報提供サービス業
設立	2006年7月※5
資本金	450百万円
株主	株式会社大和証券グループ本社(100%)
代表取締役社長	藤倉 敬

※5 1994年に株式会社大和総研にて年金(資産運用)コンサルティング業務を開始後、2006年に会社分割承継

以上